

# 試合運営について(船橋市野球協会少年学童部特別ルール)

平成29年3月改定

## \* 選手の準備運動及びアップについて(グラウンド内にて)

### 各大会開催日の第1試合

試合が行われる面の外野部分を使用して実施する。(センターを境界線とする。)

トスバッティング 試合開始予定時間の1時間前までは認める。  
(トスバッティングとは守備の選手を配置しない状態で行い  
選手同士でなくても良い)

バント 試合開始予定時間の30分前までは認める。

**素振り** **ベンチ入前までベンチ前にて行う事が出来る。(必ず指導者を付ける)**

選手へのノック 指導者のみが行える。(バットの使用を認める。)

投球練習 ベンチ前にて1組までは認める。(ベンチ入りの時間まで)

### 各大会開催日の第2試合目以降

学童部管理下の場所において、選手及び指導者がバットを使用することを禁じる。  
(学童部より貸与された面において、試合前のチームが練習する場合も同様とする。)

前の試合終了前までは、指定された場所にて実施する。

**(特に大人面の外野部分においてのアップについては、事業部の指示に従う。)**

選手のバットを使う練習は認めない。

準備体操及びキャッチボールのみを認める。

試合前は、試合面の外野部分を使用する。

試合前の選手へのノックは、指導者のみが行える。(外野でのみバットの使用を認める。)

**素振りは、ベンチ入前までベンチ前にて行うことが出来る。(必ず指導者を付ける)**

投球練習はベンチ前にて1組までは認める。(ベンチ入りの時間まで)

## \* 指導者について

グラウンド内に入れるコーチは、ベンチ登録コーチだけである。

(30・29・28番の監督・コーチで 代表・スコアラーは入れない。)

但し 第1試合のみ試合開始予定の30分前までは、補助コーチとして  
無番のコーチ(ユニフォーム姿)のグラウンド入りを認める。

ベンチ入りまでは、ベンチ登録コーチの練習補助を認める。

(ベンチ前での投球練習の捕球を認める。)

## \* その他 留意点

シートノックは、バッターBOX前のフェアゾーンで行いホームベース付近を使用しない。  
ダートサークル内には、指導者及び選手は立ち入らないようにする。  
捕手(控も含む)は、完全装備(面を装着)とする。

学童部の管理下の場所において、すべての選手がバットを使用することを禁止する。  
但し、素振りに関しては上記の規定内においては認める。

各チームの指導者においては、試合前の練習の際 選手たちの安全確保のため、必ず選手の近くに付き添い 周囲への配慮を行う。

選手任せの練習については、注意及び中止を勧告する。

試合中、守備側の捕手が道具を装着する場合、ネクストバッターサークル付近にて行う。  
(コーチ等が装着の補助を行い、試合進行を意識する。)

試合中の投球練習の際は、必ず捕手は道具を完全装着して行う。  
(必ず捕手の位置を、外野側にして行う事。)

攻守交替時での守備側の控選手の並ぶ位置は、コーチャーボックスの後ろのラインを目安とする。(試合会場により、変更をすることがある。)

メンバー表の作成において、フルネームでの記入及びふりがなの記入を励行する。

\* 上記においての「指導者」とは、ベンチ登録コーチ(30・29・28番)を指します。

\* 当日の運営において、事業部と審判部の判断で 上記の内容を変更することがある。

船橋市野球協会少年学童部

総務部・事業部・審判部